

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【公開番号】特開2012-20178(P2012-20178A)

【公開日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-005

【出願番号】特願2011-231159(P2011-231159)

【国際特許分類】

A 6 1 G 12/00 (2006.01)

A 6 1 J 7/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 12/00 Z

A 6 1 J 7/00 Z

A 6 1 K 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月29日(2012.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組成物であつて、

活性剤と、

信号を発するように構成された識別子と、

薬学的に許容可能な担体と

を含み、

該識別子は、アクチベータおよび信号生成要素を含み、該アクチベータは、該信号生成要素を活性化することにより該信号を発するように構成されており、該アクチベータは、標的部位と接触したときに該信号生成要素を活性化し、

該識別子の少なくとも一部分は、水溶液中で可溶性であり、該薬学的に許容可能な担体は、錠剤またはカプセルから選択され、

該識別子は、アンテナを含まない、組成物。

【請求項2】

前記アクチベータおよび前記信号生成要素は、基板上に配置される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記信号生成要素は、ICであり、前記アクチベータは、前記基板の対向面上に第1の電極および第2の電極を含む、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

組成物であつて、

活性剤と、

信号を発するように構成された識別子と、

薬学的に許容可能な担体と

を含み、

該識別子は、アクチベータおよび信号生成要素を含み、該アクチベータは、該信号生成

要素を活性化することにより該信号を発するように構成されており、該アクチベータは、  
標的部位と接触したときに該信号生成要素を活性化し、

該識別子の少なくとも一部分は、水溶液中で可溶性であり、該薬学的に許容可能な担体  
は、錠剤またはカプセルから選択され、

該識別子の回路は、該担体の溶解の際に曝露される、組成物。

【請求項5】

組成物であつて、

活性剤と、

信号を発するように構成された識別子と、

薬学的に許容可能な担体と

を含み、

該識別子は、アクチベータおよび信号生成要素を含み、該アクチベータは、該信号生成  
要素を活性化することにより該信号を発するように構成されており、該アクチベータは、  
標的部位と接触したときに該信号生成要素を活性化し、

該識別子の少なくとも一部分は、水溶液中で可溶性であり、該薬学的に許容可能な担体  
は、錠剤またはカプセルから選択され、

該識別子は、1mm<sup>3</sup>以下である、組成物。

【請求項6】

(a) 請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物と、

(b) 前記識別子によって生成された信号を検出する受信器と  
を含み、

該受信器は、該身体と接触する、システム。